

# 平成 19 年度事業計画

## 1 会議等の開催

定例の理事会・評議員会・運営委員会(5月・11月頃)を開催するほか、必要に応じてその他会議を開催する。

## 2 研究開発事業

地域企業の技術力向上のため、技術相談・試験分析機器の利用、分析受託事業を行うと共に、技術開発等を支援するため、新素材応用、環境機能応用、科学技術情報に係わる共同・受託研究開発事業を推進する。また、平成 19 年度に一関市が当センター隣接地に設置する貸研究室内の整備(新規)についても支援・協力をを行い、整備後は管理運営を行う。

さらに、一関高専の教官等が行う自主研究や事業化研究会の事業に支援を行うほか、外部競争資金による研究開発を推進すると共に企業ニーズ・高専等のシーズの把握と情報提供を行う。

## 3 ものづくり人材育成事業

急速に進展する技術革新や情報化・国際化等、地域産業を取り巻く環境の変化に的確に対応できる人材を育成するため、平成 18 年度に引き続き高専等を活用した中小企業人材育成事業に取り組むと共に、この事業と連携を図りながら一関地域人材育成事業(新規)及びものづくり総合力対策事業(新規)を実施する。また、一関高専が行う実践工学塾や再教育(学び直し)事業、公開講座への支援を行う。

さらに、各種機器の操作技術等を習得するための技術講習会を実施すると共に科学の芽を育成するため青少年少女発明クラブとの共同事業を実施する。

## 4 地域連携事業

地域連携を促進するため、異業種交流組織(両磐インダストリアルプラザ・各地域の工業クラブ)や関係機関・団体等との共同による産学官交流会を開催するなど、産学官の有機的連携による活動を促進する。

また、地域企業による技術提携や取引等の連携を促進するため、企業情報の交換や技術者の交流等を推進すると共に、(社)発明協会岩手県支部との共催による特許相談等を実施するなど当地域のアクセスポイントとしての機能を充実する。

## 5 情報提供事業

各種セミナーや講習会等の情報を提供するため県南技研だよりを発行すると共に、ホームページや利用ガイドにより本センターの事業・施設設備を紹介するなど有益な情報の提供に努める。

## 6 財団運営の基盤強化

自治体や趣旨に賛同する企業等の協力を得て、財団運営の基盤強化を図る。また、賛助会員の募集に努める。

さらに、平成19年度に一関市が策定する(仮称)一関市工業振興計画(新規)について、この計画の策定に参画し、本センターの位置付けや役割等を明確にする。

### 事業計画の体系

#### 1 会議等の開催

○理事会・評議員会・運営委員会・その他会議

#### 2 研究開発事業

○技術相談 → 試験分析→共同・受託研究、事業化研究会支援、競争資金の活用  
→ 貸研究室整備・活用

○企業ニーズ、高専等シーズ把握・情報提供

#### 3 ものづくり人材育成事業

○高専等を活用した中小企業人材育成事業、一関地域人材育成事業、技術講習会  
→ 高専等が行う実践工学塾、再教育(学び直し)事業 → 公開講座

○キッズサイエンス事業

#### 4 地域連携事業

○アクセスポイント → 産学官交流事業 → 地域企業の連携強化の支援

○特許相談・その他関係機関等への事業協力

#### 5 情報提供事業

○県南技研だより → ホームページ、利用ガイド

#### 6 財団運営の基盤強化

○支援助成金等の受入れ → 賛助会員の募集

○(仮称)一関市工業振興計画策定への参画